

神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科（血液） レジデント研修評価表（ 年次）				
レジデント	期（氏名）	2022.3 ver.2		
指導医		レジデントは本枠内を記入		
研修期間	年 月 日～ 年 月 日			
がん専門医研修における血液内科医としての下記の研修目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。				
A:修得した B:ほぼ修得した C:目標に達しない				
	自己評価	実施または術者	見学または助手	指導医評価
1. 知識				
1) 形態、機能、病態生理				
a) 造血臓器および血球の構造と機能	A・B・C	/		A・B・C
b) 血球産生と分化（造血幹細胞と造血因子）	A・B・C		A・B・C	
c) 血漿タンパク	A・B・C		A・B・C	
d) 止血機序	A・B・C		A・B・C	
e) 抗血栓機序	A・B・C		A・B・C	
2) 主要症候				
貧血、多血、発熱、出血傾向、血栓傾向、肝脾腫、リンパ節腫大、黄疸、免疫不全など	A・B・C			A・B・C
2. 診察				
1) リンパ節触診	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
2) 肝脾触診	A・B・C・症例なし		A・B・C	
3) 出血傾向視診	A・B・C・症例なし		A・B・C	
3. 検査				
1) 血球算定、赤血球恒数（データの解釈ができる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 塗抹標本の鏡検	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 出血・凝固検査（データの解釈ができる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) 骨髄検査				
a) 骨髄穿刺（一人で安全に行える）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b) 骨髄像の鏡検ができる	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
c) 骨髄生検（一人で安全に行える）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 表面形質検査（解釈ができる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6) 細胞遺伝学検査（解釈ができる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
7) 分子生物学的検査（解釈ができる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
8) 血液学に必要な放射線学的診断（CT、MRI等）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
9) 血液型と輸血関連検査				
a) ABO型、Rh型（一人でできる）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b) 交差適合試験	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4. 治療				
1) 食事指導	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 急性骨髄性白血病の薬物療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 急性リンパ性白血病の薬物療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) 分子標的療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 抗血栓療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6) 造血幹細胞移植				
a) 自家移植	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b) 同種移植（末梢血、骨髄、臍帯血）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
i) 宿主対移植片病の管理・治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
ii) 免疫不全における感染管理・治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 支持療法				
a) 輸血療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
b) 感染症の管理・治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
c) サイトカイン治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5. 学会活動を行っている。				
		演者または著者	共同演者または共著者	
1) 学会発表	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 論文発表	A・B・C	件	件	A・B・C
レジデント自由記載欄：（欄不足の場合は裏面へ）				
評価： 年 月 日	判定： 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可			
指導医記載欄：				

提出方法： レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。